

臨床放射線

編集委員

今井 裕
後閑 武彦
栗原 泰之
橋本 順
森 壘
中村 和正

編集協力委員

畠中 正光
小川 恭弘
松永 尚文
森 宣
村田喜代史

編集後記

▶本号の特集は「中枢神経における紛らわしい画像所見」です。中枢神経に限った問題ではありませんが、ひとつの画像所見の原因がひとつだけしかないとは限りません。所詮は2次元の白黒画像に落とし込んでいるに過ぎないので、同じような模様やパターンを呈することは間々あります。では足元を掬われないためにはどうしたらいいのでしょうか？ エキスパートの意見に耳を傾け、その妙技に瞠目して下さい。ここで、書物を編集後記からまず読み始める奇特な方に本編をひも解いてもらおうべく、各先生のパールを抜き出してみます。▶勝部論文では、「脳梗塞や脳出血といった結果のみでなく、何が原因で起こった脳卒中であるのかを考察することは大切であり、依頼医が求めているところである」と喝破しています。特に脳出血患者にTORCH症候群様の点状石灰化巣や孔脳症・裂脳症を見たらCOL4A1変異関連疾患を疑いましょう。▶古川論文では、「正常児には病的意義はないとされている所見でも、特定の症候群ではそれが特徴となるものもある」と指摘し、何でもかんでも正常変異や成長の未熟な部分をみていることにしないよう警鐘を鳴らしています。▶松木論文では、「外傷性疾患となれば、普段より慎重に隅々まで所見を拾い、また普段あまり気に留めていなかった所見に目が行き、経験不足な医師にありがちなビットフォールとして、解剖学的構造を異常所見として捉えることがある」という耳の痛い指摘があり、その解決策として「何よりもまず解剖的構造に関する知識を持つ必要がある」と王道の直球を投げています。▶明石論文では、「ある疾患に特徴的とされる画像所見でも異なる疾患に認められることがあるので、普段から特徴的な所見に頼りすぎず、一般的な画像の細かな所見に注目して読影することで何か見えてくる」はずだとシマウマ所見に飛びつかないよう注意を呼び掛け、液体貯留、リング状増強効果、脳梁を跨ぐ病変や副鼻腔炎での具体例を詳述しています。▶山本論文では、代謝/中毒性脳症は「既往歴や仕事などの患者背景の情報が有用なのは言うまでもない」としつつも、「コアとなる画像所見を絡めて鑑別疾患を記憶していくと、背景が隠されていた場合にも（意図してかどうかはともかく、実臨床ではよくある）、診断に近づく可能性は上がる」と放射線科医の役割の重要性を再認識させてくれます。▶増本論文では、腫瘍類似疾患について「純粋に画像所見のみで鑑別を試みることは限界がある」と降参しつつも、やはり基本に忠実な「臨床情報も加味して診断を進めた方が効率的かつ正しい診断を導ける」という統合的方法を解決策に挙げています。▶紛らわしい画像所見を見たら、いかに鑑別診断を絞り込めばいいのでしょうか？ これを機会に、ぜひ達人の技を会得して下さい。
森 壘

「臨床放射線」第63巻 第6号

2018年6月10日発行（毎月10日発行）

定価（本体2,600円＋税）

年間購読料金 定価（本体39,700円＋税）
[年間13冊（臨時増刊号を含む）の誌代]
年間予約購読者に限り送料無料

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14

TEL 03 (3811) 7165 編集部直通

TEL 03 (3811) 7184 営業部直通

FAX 03 (3813) 0288

ホームページ <http://www.kanehara-shuppan.co.jp/>

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社

広告申込先 福田商店 TEL 06 (6941) 5600

FAX 06 (6941) 5605

本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

JCOPY <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-3513-6969、FAX 03-3513-6979、e-mail:info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。